

# 事業概要シート

施策 0202 小・中学校教育の充実

<>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額  
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	教員補助員派遣事業	拡充	予算額		40,520 千円
			<< 34,541 >> 千円		
事業期間	～	財源内訳	国庫支出金	千円	
			県支出金	1,990 千円	
地方債	千円				
その他	千円				
一般財源	38,530 千円				
根拠法令要綱等					

**【事業の目的・概要・対象】**

**【目的】**

・支援を要する児童生徒を学校や学級における学習環境や生活環境に適応させるとともに、学級全体の児童生徒に対しよりよい教育環境を提供するため。

**【概要】**

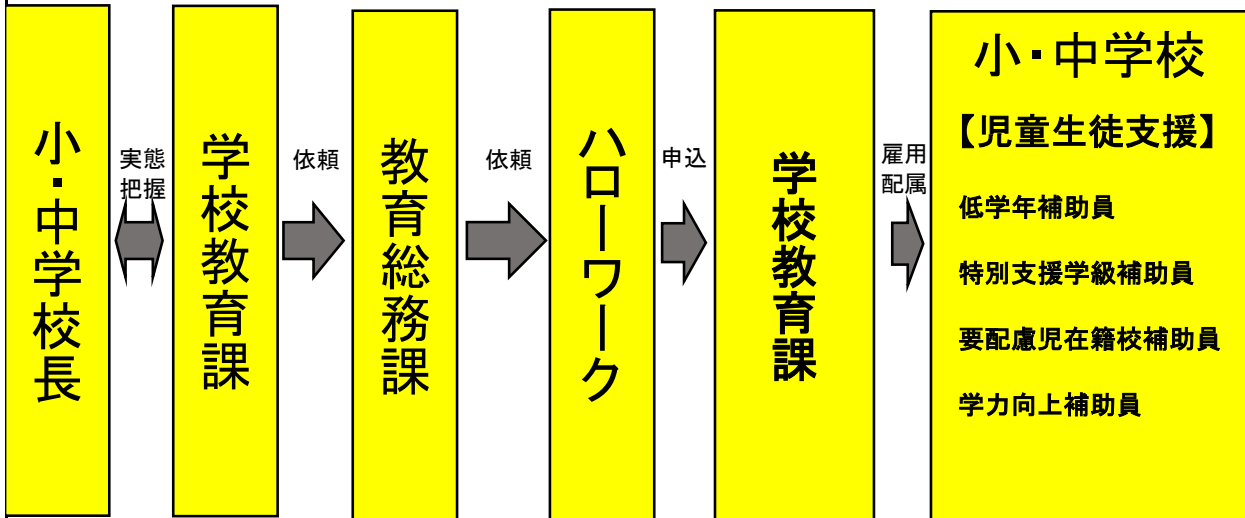
・支援を要する児童生徒の在籍する学校や学級、また、新入学児童が100名を越す大規模校に補助員を配置する。

**【対象】**

・支援を要する児童生徒

**【拡充内容】**

・要配慮児童、特別支援学級の児童の増加により、平成31年度から補助員を8名増員する。



**【背景】**

インクルーシブ教育システム構築が進む中、特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受ける児童生徒が増加していることや、通常学級に在籍する発達障害等のある児童生徒への適切な対応が求められていることから、教員をサポートする補助員の役割が重要となっている。

担当課	教育委員会 学校教育課	課長	江浪 俊彦
担当者	福井 隆弘	問合せ先	0957-53-4111(内線394)

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	補助員の配置校数	校	19	19	20	20	20
②	補助員の配置人数	人	37	42	42	50	50

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	目標値						
②	目標値						

## 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	28,932	32,389	34,541	40,520	40,520	40,520	217,422
国庫支出金							0
県支出金	2,373	1,969	1,965	1,990	1,990	1,990	12,277
地方債							0
その他	118						118
一般財源	26,441	30,420	32,576	38,530	38,530	38,530	205,027
人件費	1,604	1,171	2,545	2,545	2,545	2,545	12,956
職員(人)	0.20人	0.15人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	1.75人
時間外勤務(h)	75h	40h					115h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	30,536	33,560	37,086	43,065	43,065	43,065	230,378

妥当性 (市の関与)	学校内における指導体制の整備については、県教委による教員の加配や非常勤職員の配置も行われているが、対象児童生徒は年々増加しており限界がある。当該児童生徒だけでなく、同学級に在籍する他児童生徒の安全確保及び学力保障の面からも、市による人的配置支援の必要性は高い。
有効性 (施策貢献度)	支援を要する児童生徒一人ひとりへの対応が可能となるとともに、学級集団が授業へ集中する時間を確保することができ、学級全体の学力向上を図る上で効果がある。また、個に応じた生活環境を保障することができる。
効率性 (コスト)	補助員は、必要な人員を配置しており、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--